

授業科目

言語聴覚障害診断学演習I

担当教員名 山岸 達弥、今村 徹、渡辺 時生、西尾 正輝、今井 信行、栗崎 由貴子、佐藤 克郎、石本 豪、内山 信、大石 如香、桑原 桂、吉岡 豊 他	対象学年	3	対象学科	言語
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

言語聴覚障害診断学で学んだ各種の評価・診断の理論と方法を演習形式により修得する。また、病院、施設等を訪れ、臨床現場での診断技術を学ぶ。各言語聴覚障害の専門分野を含む評価・診断の理論と方法について演習を行なう。

授業の目的

言語聴覚障害に関する各種の評価・診断の理論と方法を演習形式により実施し、臨床場面で実際に実施できるようにする。

学習目標

1. 専門基礎科目と専門科目の理解を深める。
2. 臨床実習を補うための症例検討会参加、症例のVTR検討、対象者との臨床的かかわりの機会を体験する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	臨床実習における留意点	講義と演習	大石 如香
2	感染予防対策	講義と演習	今井 信行
3	リスク管理	講義	渡辺 時生
4	トランスファー実技演習	演習	非常勤
5	聴覚障害	演習	桑原 桂
6	臨床倫理	講義と演習	栗崎 由貴子
7	心理的支援	講義	石本 豪
8	失語症	講義	栗崎 由貴子
9	失語症	講義	内山 信
10	成人発声発語・嚥下障害	講義	西尾 正輝
11	臨床上の注意	講義	吉岡 豊
12	小児領域の臨床	講義	渡辺 時生
13	小児言語障害	講義	山岸 達弥
14	高次脳機能障害	講義と演習	今村 徹
15	耳鼻咽喉科領域	講義	佐藤 克郎

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料						

評価方法

課題レポートおよび演習態度により評価する。

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー：火曜日12：00～13：00
 連絡先：yamagisi@nuhw.ac.jp